

(1) 保存地区の概要

地区名	牟岐町出羽島	
種別	漁村集落	
面積	約 3.7 ヘクタール	
選定年月日	平成29年2月23日	

太平洋に浮かぶ保存地区

特徴	<p>牟岐町の南海上に浮かぶ出羽島は、鰯漁を中心とした漁業の隆盛によって繁栄した島の漁村集落である。江戸後期の本格的な移住開始を契機に、島北部の入江を利用した港の周りに集落が形成された。集落拡大の歴史が地区ごとの特徴となって反映されており、幕末から昭和前期までの伝統的な民家が高密度に残る。</p> <p>牟岐町出羽島伝統的建造物群保存地区は、これらの伝統的建造物及び周辺の環境と一体となって、離島における伝統的漁村集落の風致をよく伝えている。</p>
----	--



町屋型の民家が連続する西波止・本町地区



港の周囲に伝統的民家が建ち並ぶ漁村集落の景観

安政地震後に浜を埋立て
計画的に宅地整備された
新町地区

地区開発時の伝統的な町並みが色濃く残る洲鼻地区

（2）保存地区のあゆみ

平成25年度 (2013)	牟岐町出羽島伝統的建造物群保存対策調査に着手 （～26年度）
平成28年度 (2016)	「牟岐町出羽島伝統的建造物群保存地区」の都市計画決定（6月）
平成28年度 (2016)	『重要伝統的建造物群保存地区』選定（2月）
平成29年度 (2017)	修理・修景事業スタート JR四国 駅からウォーク 4月～3月 重要伝統的建造物群保存地区「出羽島」散策 (4月) (10月)

平成27年度
出羽島交流施設「波止の家」の整備



（3）保存地区の保存と整備

平成29年度 修理事業2件
修景事業1件

平成30年度 予定
修理事業4件
修景事業1件

保存地区内における建築物の修理要望数が多いことから、平成28年度の重要伝統的建造物群保存地区選定の翌年度から保存修理事業を実施し、地区の保存整備を進めている。

（4）保存地区の活用とまちづくり

町並みの価値啓発

出羽島 調査報告会・島内ミニツアー（平成27年度）

- ・住民を主な対象とした保存対策調査の報告会及び島内ミニツアーを開催。
- ・「調査で伝統的価値が明らかとなった、自分達の町を自分達の足で歩く」
- ・当たり前すぎて気づかなかった町の価値・魅力の再認識・再発見。



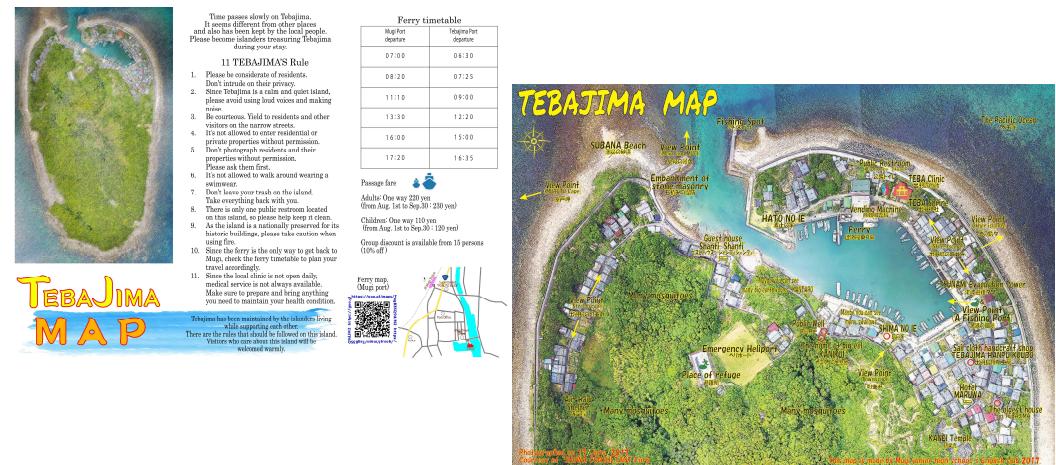
（5）住民等の取組

牟岐町出羽島においては、住民をはじめ、建築の専門家、観光ガイドの会など様々な人々がその保存と活用を支えている。

保存と活用を兼ねた取組の例としては、（公社）徳島県建築士会が建築士・施工業者研修会の実施を牟岐町から受託している。出羽島における伝統的な町並み・民家の特徴を学びつつ、文化財建造物の保存整備事業に携わることができる建築士・施工業者の育成を図るものであり、継続的な保存整備事業の実施へつながるよう、取り組んでいる。

牟岐中学校 イングリッシュクラブ（総合的な学習の時間）による出羽島おもてなしツアー（平成29年度）

徳島サマースクール2017に参加した国内外の高校生・大学生を対象に、イングリッシュクラブの生徒が伝建地区の英語ガイドツアーの実施及び英語版出羽島マップを作成。



（公社）徳島県建築士会による
建築士、施工業者研修会



研修を兼ねた保存修理事業計画
作成の現地作業